

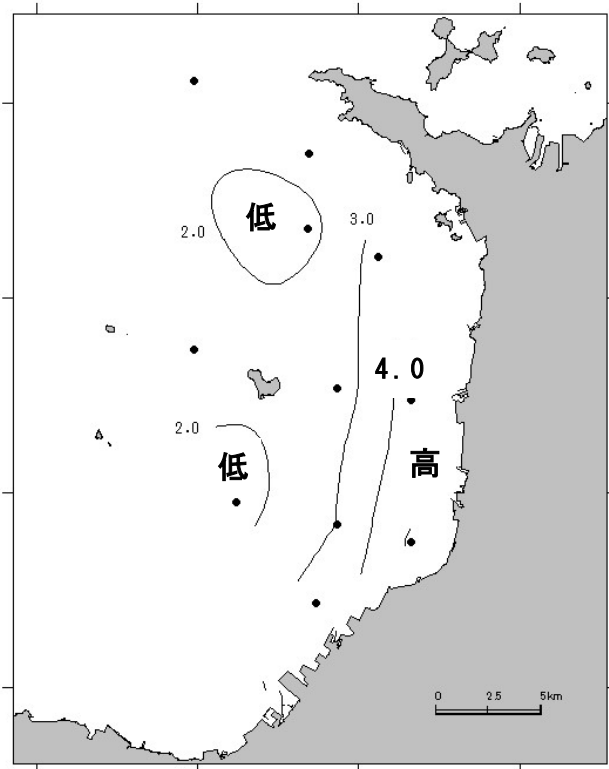
## 燧灘貧酸素情報（第 3 号）

香川県水産試験場

### 8月2日観測結果

8月2日現在，燧灘底層の溶存酸素量は7月15日の観測時よりも沖合を中心に減少している点が多く，底生生物の生息環境が悪化した状態が続いています。ただ岸寄りの測点では底層の溶存酸素量はまだ維持されており，沖合でも中層には昨年度よりも酸素が残っている傾向がみられます（次回8月中旬観測予定）。

単位：mg/L  
調査名：浅海定線調査  
測定方法：RINKO-Profiler  
による測定



底層の溶存酸素量

#### 溶存酸素量（DO）の目安\*

溶存酸素量	生物への影響
4.3mg/L 以下	魚類・甲殻類・底生生物（ベントス）に影響
3.6mg/L 以下	貝類に影響，甲殻類の生存困難
2.9mg/L 以下	底生生物（ベントス）の生存困難
2.2mg/L 以下	底生魚類の生存困難

\* 漁場環境容量策定事業報告書（水産資源保護協会 1989）を参考にしています。